

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	エンターテインメント学科 (音響コース)	夜・通信	900 時間	160 時間	
	エンターテインメント学科 (照明コース)	夜・通信	900 時間	160 時間	
	エンターテインメント学科 (映像コース)	夜・通信	900 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページによる公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部の“シラバス等”内に記載)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにより公表 URL : <http://www.asvcoll-ac.jp/> (TOP ページ下部、“財務諸表等”の理事名簿に記載)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所代表	R6.6～ R9.5(3年)	財務
非常勤	労務管理事務所代表	R6.6～ R9.5(3年)	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 前年に実施された、授業評価アンケートをもとに講師と教務でシラバスと授業構築の見直しをして次年度の作成をする。</p> <p>【授業計画書の作成・公表時期】 講師と教務での見直し後、授業計画書(シラバス)の作成をする。公表時期は新年度始まり早い時期に学生に配布、ホームページ上での公表も同様。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにより公表 URL : http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“シラバス等”)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位計算方法は、講義および演習については15時間から20時間をもって1単位とする。実習および実技については30時間から45時間をもって1単位とする。 ・卒業までに履修させる単位は、音響コース、照明コース、映像コースともに84単位以上とする。 ・各コースの1年次におけるインターンシップは、受入れ先企業での実働時間を30時間1単位とし、演習・実習科目インターンシップの卒業単位として認める。但し、別に定める要件を満たすこと。 ・各授業科目の成績評価は各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容、提出状況、受講態度などを総合的に勘案し、各授業科目を終了したものに所定の単位を与える。担当講師により、試験、レポート、学修成果を厳格に評価する。 ・履修認定に必要な単位取得、成績評価の方法には履修管理ソフトを使用して、予め設定した履修時間や成績(評価)が厳格かつ適正に管理し、単位授与又は履修設定を実施している。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【客観的な指標の具体的な内容】</p> <p>学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C 評価以上を合格とする。</p> <p>S：特に優秀な成績・・・100～90点 A：すぐれた成績・・・89～80点 B：一応その科目の要求を満たす成績・・・79～70点 C：合格と認められる最低の成績・・・69～60点 F：不合格・・・59点以下</p> <p>履修管理ソフトを導入しており、上記によって出された各科目の成績、順位、平均点、評価が明確に管理されて指標の算出に役立てている。</p> <p>【客観的な指標の適切な実施状況】</p> <p>上記によって導き出された、学生個人の全ての試験科目の成績を合計し、個人の平均点を算出する。学科ごとに全学生の平均点を算出し指標分布を作成する。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL：http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業認定に関する方針の具体的な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学に2年以上在学し、各学科で定める授業科目を履修し、コースごとに定める授業科目をすべて履修し、音響コース、照明コース、映像コースともに84単位以上を修得したもの。 ・ 納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 ・ 卒業認定会議にて附して卒業を認定する。 <p>卒業認定会議では、上記の卒業単位の履修と納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもののほかに、本校の校訓である「3Hの法則」に基づいて、Heart（まごころ）、Head（知識）、Hand（技能・所作）をバランス良く学び、総合力を身につけ、社会に貢献できる有用な人材になっているのかどうかも加味しながら、教員と校長とで卒業認定について話し合い、学生に「卒業認定通知」を出す。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページにより公表</p> <p>URL：http://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部、“成績評価に関する…”)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アーツ サウンドビジュアル専門学校
設置者名	学校法人群馬県美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにより公表 URL： http://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
収支計算書又は損益計算書	ホームページにより公表 URL： http://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
財産目録	ホームページにより公表 URL： http://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
事業報告書	ホームページにより公表 URL： http://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）
監事による監査報告（書）	ホームページにより公表 URL： http://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部、“財務諸表等”）

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	エンターテインメント学科 (音響コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間／84 単位	810 単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人内数		18 人	0 人	3 人	16 人	19 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	エンターテインメント学科 (照明コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間／84 単位	810 単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人内数	4人	0人	3人	16人	19人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		文化・教養 専門課程	エンターテインメント学科 (映像コース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間／84 単位	810 単位時間 /単位	単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人内数		11人	0人	3人	16人	19人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 優れた専門性と豊かな創造性を教育の基本理念とし、文化・芸術・舞台・音響・照明・映像分野に必要な知識と技能を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。 音響コース、照明コースは、コンサートや舞台芸術、イベントでのハイパフォーマンスを音響や照明といった技術で支え、観客へと魅力的に表現するエンジニアを育成する。 映像コースは、ロケーション撮影からPV・CG制作まで映像編集・音声処理の両面で活躍できるクリエイターを育成する。

成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目の成績評価は、各学期末に行う試験、実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し、各授業科目を修了したものに所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【進級】 卒業に必要な課目をすべて履修しなければならない。学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。 ・校長は、次の各号に該当する者について進級認定会議に附して進級を認定する。 ① 1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。 ② 1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。 【卒業】 ・ 本学に2年以上在学し、エンターテインメント学科におけるコースごとに定める授業科目をすべて履修し、84単位以上を修得したもの。 ・ 納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>【校内に学生用パソコンを設置】学修や就職等に必要な情報等を自由に得たり、書類等の作成から印刷まですることが出来る。また、本校学生の就職先の業界では主流となるMacも学生が使用できるように設置しており、最新のソフトを自由に使用可能となっている。</p> <p>【就職サポート】</p> <p>担任制・個別指導、就職試験対策、インターンシップ等により学生一人一人の就職をサポートしています。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	19人 (82.6%)	4人 (17.4%)
(主な就職、業界等) 舞台ホール管理、音響照明、演劇照明、イベント運営・施工、映像広告、番組制作等			
(就職指導内容) 本人の能力を考慮し、企業研究をさせた。 キャリアデザインから企業研究、エントリーシート作成、履歴書（志望動機）作成 SPI、グループディスカッション、グループ面接、個人面接などの指導 試験のタイミングに合わせた指導。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 舞台機構調整技能士3級、ビジネス能力検定3級、舞台テレビジョン照明技術者2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	2人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との対話時間を多くし、細やかな対応を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
-----	-----	-------------	-----	------------

エンターテインメント学科	100,000 円	600,000 円	560,000 円	実習・研修費 200,000 円 教育充実費 50,000 円 施設設備費 300,000 円 休学中の在籍料 10,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） ホームページにより公表 （現在は R4 年度の情報、R5 年度の情報は 9～10 月頃にアップする予定） URL : https://www.asvcoll-ac.jp/ （TOP ページ下部の「学校情報」）		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
【評価項目】 1) 教育理念・目標 2) 学校運営 3) 教育活動 4) 学修成果 5) 学生支援 6) 教育環境 7) 学生の受け入れ募集 8) 財務 9) 法令等の遵守 10) 社会貢献・地域貢献 【評価委員会の構成】 企業委員 5 名 【評価の活用方法】 学校教育活動等の総合的な状況について、学校関係者評価委員が基準を満たしているかどうかの判断を中心とした評価を実施する。評価の結果を受け、学校運営や教育活動についての見直しや改善を行うことで実践的な職業教育を行い、業界で活躍できる人材の育成に努める。 【学校関係者評価委員会の開催時期】 前年度の自己評価に対する評価を当年度の 8 月頃に委員会を開催 【学校関係者評価結果の公表時期】 前年度に対する評価結果を通年当年度の 9～10 月頃にホームページに公表する		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
関東地区理容師美容師養成施設協議会	R6 年 4 月 1 日～R9 年 3 月 31 日	企業等委員

株式会社トニーズコレクション	R6年4月1日～R9年3月31日	企業等委員
有限会社富岡労務管理事務所	R6年4月1日～R9年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
ホームページにより公表 (現在はR4年度の情報、R5年度の情報は9～10月頃にアップする予定)		
URL : https://www.asvcoll-ac.jp/ (TOP ページ下部の「学校情報」)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「学校パンフレット及び募集要項」本校ホームページ (http://www.asvcoll-ac.jp/) のTOP ページ右上の“資料請求” からか電話での資料請求により入手可能

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H110310000628
学校名 (〇〇大学 等)	アーツ サウンド ビジュアル専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人群馬県美容学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		7人	6人	7人
内 訳	第Ⅰ区分	3人	3人	
	第Ⅱ区分	3人	3人	
	第Ⅲ区分	1人	0人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				7人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。